

令和 5 年度 郡市医師会産業保健担当理事協議会

と き 令和 5 年 12 月 14 日 (木) 15 : 00 ~ 15 : 30
ところ 山口県医師会 6 階 会議室

[報告 : 常任理事 上野 雄史]

1 協議事項

(1) 県医師会主催・郡市医師会協力による産業医研修会について

上野 令和 4 年度は 7 月から開催し、18 回の研修会を実施した。令和 5 年度も、昨年度同様に 7 月以降の開催、18 回の研修会を企画しており、これまでに 15 回開催している。研修内容は、基礎実地・生涯実地の研修 9 回、基礎後期・生涯専門の研修 9 回を予定している (計画通り 18 回の研修会を終了した)。令和 6 年度の郡市医師会協力による産業医研修会の実施については、令和 6 年 1 月中に産業医部会の各支部に対し研修希望の調査を行う予定である (令和 6 年 1 月に通知済み)。

(2) 日本医師会 Web 研修システム利用について

上野 すでに日本医師会から各郡市医師会に通知があったとおり、令和 5 年度から Web 研修システムが都道府県医師会に加えて、郡市医師会研修会においても運用可能となった。令和 4 年度

のシステムからの変更点として、Web 配信に必要となる基本利用料が必要となる。また、研修会申込をする際は「日医 Web 研修システム」のサイトにアクセスし登録する必要がある、全国で 1 日 9 か所、参加者は 1,500 人までの制限がある。Web 配信には「ライブ配信」と「受付機能のみ利用」の二種類があり、「ライブ配信」は現地の講演を配信する形式、収録済の映像を配信する形式、遠方の演者と会場を zoom でつなぐ形式がある。「受付機能のみ利用」には、Web 研修システムから申込を行い、当日直接会場にて受講する形式と zoom にアクセスして受講する形式がある。顔認証システムや受講中のコード入力等を導入して、出欠状況を管理している。

山口県医師会では現時点で運用の予定はなく、従来の対面での研修会を継続して実施する。郡市医師会において本システム利用の希望がある場合は、日本医師会へ直接相談いただきたい。

出席者

郡市担当理事

大 島 郡 野村 寿和
玖 珂 立石 肇
熊 毛 郡 満岡 裕
美 祢 郡 吉崎 美樹
下 関 市 佐々木義浩
宇 部 市 日浦 泰博
萩 市 兼田健一郎

防 府 山縣 三紀
下 松 木村 豊彦
山陽小野田 関 耕三郎
光 市 田村 健司
柳 井 吉田 一典
長 門 市 村田 高茂
美 祢 市 中元 起力

県医師会

会 長 加藤 智栄
副 会 長 中村 洋
常任理事 上野 雄史
理 事 藤井 郁英

(3) 単位修得証明シールの取扱いについて

上野 令和5年9月に日本医師会より、当面の産業医研修会においては配布する単位シールと参加者個人を番号で紐づけし、名簿で管理する方針が示された。この方針を受けて、令和5年11月に山口県医師会からも今後の方針を提示した。

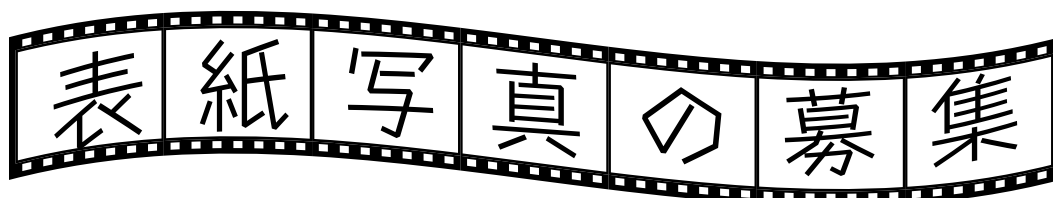
名簿の管理については、単位シールに整理番号をナンバリングし、受講者名簿の整理番号と単位シールの整理番号を一致させ、照合できるように管理することとしている。研修会終了後、主催の郡市医師会に受講者名簿と余った単位シールの返却をお願いしている。希望がある場合は、単位シールに受講者個人名を印字する。

配付方法については、受講者人数・規模に応じて二つの案を提示している。受講者人数が少ない研修会においては、座席に番号を指定して研修会終了後に座席番号と同じ整理番号の単位シールを配付する方法、受講者が多い場合は単位シール引換券を受付時に配付し、研修会終了後に同様の番号の単位シールを交換する方法がある。

令和5年12月9日に開催した本会主催の産業医研修会においては、上記のような単位シール引換券を用いた引き換え方法を実施した。受付時に単位シール引換券に名前を記入し提示いただき、研修会終了後にも同様に提示いただき、シールと交換した。本研修会の参加者は128名であったが、混乱等なく終了することができた。郡市医師会研修会においても、引き続き名簿の管理と新しい方法での単位シールの配付に協力をお願いしたい。

(4) その他

上野 10月22日、11月5日に開催した山口県医師会産業医基礎（前期）研修会について報告した。



山口県医師会報の表紙を飾る写真を随時募集しております。
アナログ写真、デジタル写真を問いません。
ぜひ下記までご連絡ください。
ただし、山口県医師会会員撮影のものに限ります。



〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1 山口県医師会総務課内 会報編集係
E-mail : kaihoh@yamaguchi.med.or.jp